

案件概要書

2024 年 6 月 25 日

1. 基本情報

- (1) 国名：南スーダン共和国（以下、「南スーダン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ジュバ都市圏のうちジュバ市西部ルリ地区
- (3) 案件名：ジュバ都市圏水供給拡張計画
(The Project for the Expansion of Water Supply System in Urban Area)
- (4) 計画の要約：本計画は、首都ジュバ都市圏西部の上水道未整備地域において、取水施設、浄水場及び配水池の新設並びに送配水管網及び給水施設等の整備を実施することにより、より廉価で安全かつ安定した給水の実現を図り、もって同都市圏の生活環境の改善を通じた、南スーダンの包摂的な社会サービスの向上寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

南スーダンは、スーダン建国以降の独立紛争を経て 2011 年に独立した世界で最も新しい国であるが、同国の社会・経済インフラ、基礎サービス及び非石油産業の欠如は深刻であり、特に地方部における治安の安定化や統治機構の整備が課題となっている。国連開発計画（UNDP）の 2022 年人間開発指標（HDI）では、同国は 193 か国中 192 位と極めて低いレベルにある。また、昨年発生した隣国スーダンの情勢悪化によりスーダンに流出していた南スーダン難民の多くが帰還民として南スーダンに戻り、かつ国内に多くの国内避難民を抱えることから、830 万人が人道援助を必要とする状況になっている。我が国が人道と開発の両面で南スーダンを支援することは、同国の平和の定着と経済の安定化に寄与するのみならず、地域全体の安定にとっても重要である。また、我が国が開発協力大綱や TICAD プロセスにおいて重点課題とする人間の安全保障や平和と安定、さらには二国間の関係強化・交流拡大の観点からも、同国の経済・社会開発を支援する意義は大きい。

また、南スーダンは長く続いた紛争により基礎インフラの整備が大幅に遅れ、なかでも社会インフラの著しい不足が人々の生活・生計及び経済活動にとって大きな障壁となっている。本計画は、拡大するジュバ都市圏のうち、人口増加が著しいにもかかわらず水道インフラが未整備であるルリ地区に対し水道施設を整備することにより、より廉価で安全かつ安定した給水の実現を図り、もってジュバ都市圏の生活環境の改善に寄与するものである。

- (2) 当該国における水・衛生セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け
ジュバ市の人口は 2011 年の独立以降、帰還民の流入等により年 3.5～3.8%の増加率で増え続け、西部及び北部への急速な都市圏の拡大が顕著になっている。

人口増加に伴い高まるジュバ都市圏の給水ニーズ増大に対し、JICA は 2009 年に開発計画調査型技術協力を実施し、ジュバ市給水基本計画（以下、「基本計画」という。）を策定、南スーダン水道公社（South Sudan Urban Water Corporation。以下、「SSUWC」という。）に対する能力強化計画を定めた。JICA は先導して他ドナーと調整を行い、基本計画に沿って上水道セクターで協力を進めてきた。

しかしながら、首都ジュバ都市圏の中で特に人口増が続く西部地区（ルリ地区）では水道施設が整備されていないため、住民は民間企業が運営する給水車から購入しているが、安定的に供給される状況ではないため、塩分濃度の高い井戸水など飲用に適さない水や、雨水などの適切に処理されていない水を利用せざるを得ない世帯が多い。また、ルリ地区は取水地であるナイル川から遠く、ナイル川からの運搬距離が長いこと、給水車からの水購入費用は世帯収入の約 20% を占め、家計への大きな負担となっている。家計の圧迫に加えて、適切な水が十分に確保できていないことによる水系感染症の発生等の問題も極めて深刻である。

本計画は、拡大する都市圏のうち、人口増加が著しいにもかかわらず水道インフラが未整備で特に給水ニーズの高いルリ地区に対し水道施設を整備することにより、給水エリアを拡大する取り組みに貢献するものであり、基本計画においても当該都市圏の生活基盤整備に不可欠な優先度の高い事業として位置付けられている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設の内容：取水施設、浄水場（5,460m³/日）、送配水施設、給水施設（公共水栓、給水車による給水拠点（協力準備調査にて確認））

イ) コンサルティングサービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

② 期待される開発効果（ルリ地区の給水人口（人）0（基準値）→133,000（目標値）、ルリ地区における日平均給水量（m³/日）0（基準値）→4,600（目標値））により、安全な水へのアクセスおよび対象地域の生活環境改善への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：SSUWC

④ 他機関との連携・役割分担：UNICEF、ICRC、AfDB、GIZ 等の機関がジュバ都市圏の給水関連の支援を実施。

⑤ 運営／維持管理体制：SSUWC が運営／維持管理を行う。

(2) その他特記事項

● 環境社会配慮カテゴリ分類：B

● ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

● 本事業は安定的な水供給に向けた取り組みであり、気候変動への適応策と位置付けられる。

● 2024 年 12 月が大統領選挙予定時期であることから、前後時期の安全確保及び情

報収集に努める。また、協力準備調査においては現場保全の方策検討、宿舎や現場事務所と事業サイト間の脅威確認、空港退避経路や事故が多発する高リスクの場所等の調査を行う。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

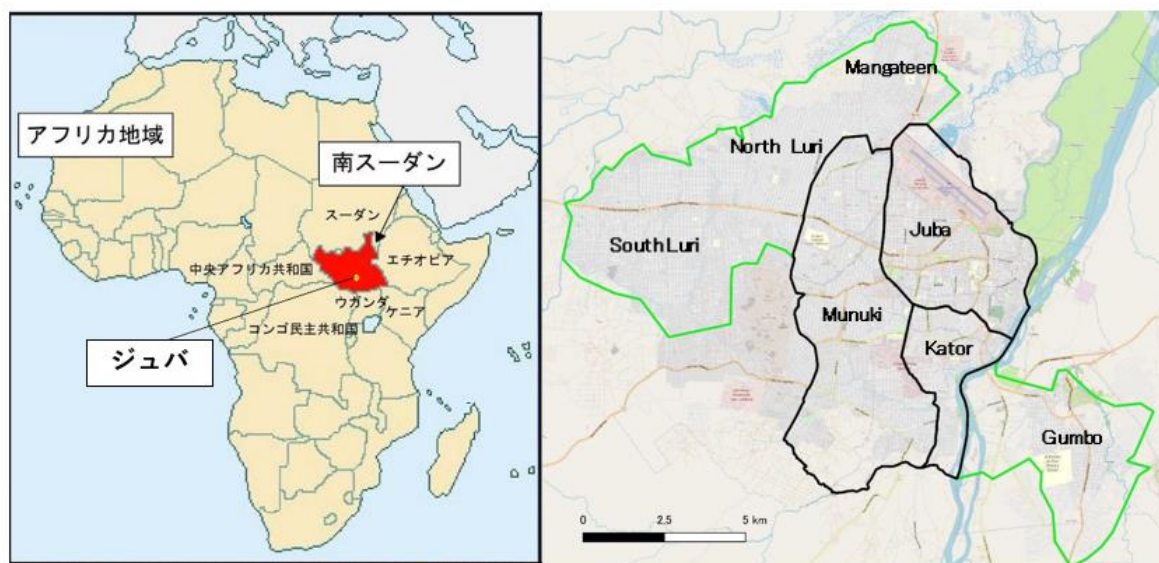
東ティモール国向け「サメ・アイナロ上水整備計画」（評価年度 2012 年）の事後評価等では、独立後間もない国家では施設の維持管理能力が低いことが予見されたため、無償資金協力だけでなく、技術協力を通じて維持管理面の総合的な能力強化を図ることが適当であったとされている。南スーダンでは本事業と並行して技術協力を実施しており、施設の運転維持管理や料金徴収等についての能力向上を支援し、総合的な能力強化を図ることとしている。

以 上

[別添資料] 地図「ジュバ都市圏水供給拡張計画」

[別添資料] 写真「ジュバ都市圏水供給拡張計画」

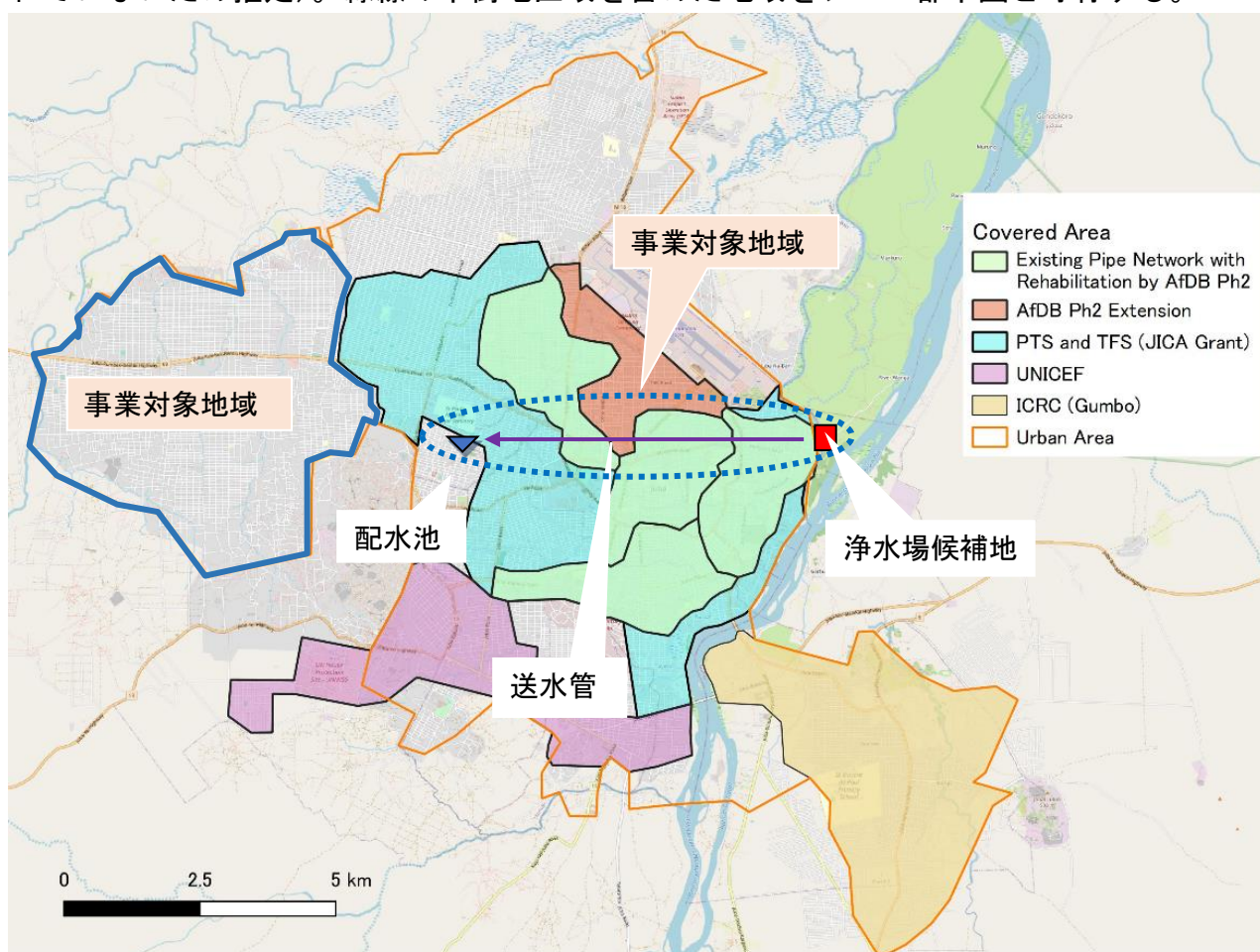
地図 南スーダン「ジュバ都市圏水供給拡張計画」



南スーダン及びジュバの位置図

ジュバ都市圏図（※）

※黒線に囲まれた3ブロックが行政区分上のジュバ市（公式境界線が明確に定められていないため推定）。緑線の市街地区域を含めた地域をジュバ都市圏と呼称する。



出典：TEC インターナショナル、建設技研インターナショナル「ジュバ市きれいな水供給プロジェクト（第1期）現地調査簡易報告書」より JICA 作成

写真「ジュバ都市圏水供給拡張計画」



ナイル川に面した取水口

浄水場プール

2012年に実施されたジュバ市水供給改善計画の浄水場隣接地区に本計画では新たに浄水場を建設する予定。



浄水場送水室

既存の給水栓設備 各世帯向けに販売



既存の給水栓設備
給水車へ注水し各地域で水を販売

多数の民間給水車が待機中